

別添 6-5 (第 3 の 2 関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和2年度）

都道府県名 富山県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績（円）	うち交付金相当額（円）	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	8 経営体	13 戸	162%	A	ア. 日本版畜産GAP指導員の育成：88,000 イ. 生産現場における研修会の開催：12,580 ウ. 日本版畜産GAPの普及推進：20,005	ア. 日本版畜産GAP指導員の育成：88,000 イ. 生産現場における研修会の開催：12,580 ウ. 日本版畜産GAPの普及推進：20,005	令和2年度 目標達成済み
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	1 経営体	0 戸	0%	D	—	—	令和2年度、 3年度未達成
事業の成果 I：令和2年度に引き続き、13戸に対して普及指導員が中心となり県内の畜産農家及び農業高校に対して畜産GAPに対する理解醸成と普及啓発を実施し、GAP認証取得を促した。 II：令和3年度にもJGAP指導員5名の更新を行い、指導員の体制を充実させ、農家への指導を実施したものの、認証取得に向けた取り組みに誘導するまでには至らなかった。令和元年にGAPチャレンジ確認農場となった県立中央農高の認証取得を進める対象経営体としていたが、「新型コロナウイルス感染拡大の影響」が令和3年度も続いたため、十分な活動ができなかったことから、令和3年度中の認証取得には至らなかった。							
都道府県による評価 II：令和3年度にも5名の指導員資格の更新、3年度末には指導員15名となり、畜産GAP認証取得を支援する体制の強化を図り指導を行ってきたが、畜産GAP認証取得経営体数1戸の目標に対しては、認証取得までには至らず、実績は0戸であった。 令和3年度もGAP認証取得は達成できなかったため「D」評価としている。 今後は、関係機関と連携し継続的に、県立中央農業高校等GAP認証取得に関心を持つ経営体を中心に指導を行い、GAP認証取得へと誘導する方針である。							
国による評価 令和2年度事業の評価は未達で本年度再評価したものの、GAP認証取得経営体数の目標は未達であった。このため、成果目標達成に向けた改善計画の策定及び提出を指導。							

別添6-5 (第3の2関係))

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和2年度）

都道府県名 福井県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当 額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	15 経営体	15 経営体	100%	A	99,000	99,000	
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	1 経営体	0 経営体	0%	D	0	0	
事業の成果 令和2年度に引き続き、15戸の対してJGAP指導を各農林総合事務所等の普及指導員と協力して、GAP認証取得を促した。 GAP認証に関心を示す農家は2戸あったが、認証取得にまでは至らなかった。 令和3年度にもJGAP指導員(家畜・畜産物)1名の養成を行い、指導員の体制を充実させ、農家への指導について12戸実施したもの、認証取得に向けた取り組みに誘導することが難しかった。							
都道府県による評価 令和3年度にも1名の指導員資格の取得、3年度末には指導員4名となり、畜産GAP認証取得を支援する体制の強化を図り指導を行ってきたが、畜産GAP認証取得経営体数1戸の目標に対しては、認証取得までに至らず、実績は0戸であった。 令和3年度もGAP認証取得は達成できなかったため「D」評価としている。 今後は、6次化に取り組みHACCPを導入している農家を中心に指導を行い、GAP認証取得へと誘導をする方針である。							
国による評価 令和2年度事業の評価は未達で本年度再評価したものの、GAP認証取得経営体数の目標は未達であった。このため、成果目標達成に向けた改善計画の策定及び提出を指導。							

別添7-5 (第3の2)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 富山県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績（円）	うち交付金相当額（円）	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	8 経営体	18 戸	225%	A	ア. 日本版畜産GAP指導員の育成：110,000 イ. 生産現場における研修会の開催：7,255 ウ. 日本版畜産GAPの普及推進：244,029	ア. 畜産GAP指導員の育成：110,000 イ. 生産現場における研修会開催：7,255 ウ. 日本版畜産GAPの普及推進：244,029	
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	1 経営体	0 戸	0%	D	0	0	
事業の成果 I：令和3年度は、5名の指導員資格の更新し、15名の指導員を中心に県内18戸の畜産農家および農業高校へ畜産GAPに対する理解醸成と普及啓発を実施した。 II：畜産GAP認証取得に関心のある経営体をパイロット経営体として位置づけ、指導員及び関係機関が連携し、認証取得に向け指導したが認証取得の取組までは至らなかった。							
都道府県による評価 I：令和3年度は、5名の指導員資格の更新を行い、令和3年度末には指導員15名となった。これらの指導員が計画の8戸に対し、18戸へ指導を実施し、目標を達成したことから「A」評価としている。 II：畜産GAP認証取得に関して、Iにより理解醸成に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の終息見通しが立たない中、対象経営体において、十分な活動ができなかったことから、実績は0戸であった。 このため、畜産GAP認証取得は、「D」評価としている。 今後は、関係機関と連携し継続的に、対象経営体を中心に指導を行い、GAP認証取得へと誘導する方針である。							
国による評価 5名の指導員資格の更新を行い、令和3年度末には指導員15名となり、これらの指導員により畜産GAP指導農業者数の目標8戸に対し18戸へ指導を実施し目標を達成した。 しかしながら、畜産GAP認証取得経営体1戸の目標に対して、実績は0戸であった。このため、成果目標達成に向けた改善計画（終期を令和4年度として）策定及び提出を指導する。							

別添 7-5 (第 3 の 2)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 福井県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当 額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	10 経営体	12 経営体	120%	A	49,500	49,500	
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	1 経営体	0 経営体	0%	D	0	0	

事業の成果
 JGAP 指導員（家畜・畜産物）1名の養成を行った。GAP 指導員が、各農林総合事務所等の普及指導員と協力して、GAP 認証取得に関心のある農家やGAPの実践による経営改善が必要な農家に対して指導を実施した。6次化に取り組む農家では、GAPやHACCPに対する意識が高まっている。

都道府県による評価
 令和3年度は、1名の指導員資格の取得、1名の指導員資格の更新を行い令和3年度末には4名となり、これらの指導員が畜産GAP指導農業計画の10戸に対し、12戸へ指導し目標を達成した。しかしながら、GAP認証取得を目指す農家が少なく、認証取得目標は達成できず「D」評価としている。令和4年度は、6次化に取り組みHACCPを導入している農家を中心に指導を行い、GAP認証取得へと誘導をする方針である。

国による評価
 指導員が中心となり、指導対象経営体の目標値10経営体に対し、12経営体の指導が行われたが、GAP認証取得を目指すまでには至らず、畜産GAP認証取得経営体数1戸の目標に対して、実績は0戸であった。このため、成果目標達成に向けた改善計画書の（終期を令和4年度として）策定を指導する。